

新入生諸君に、 広い視野と積極性を

学長



すずき こうじ
鈴木 康司

新入生諸君、入学おめでとう。美しく咲き誇る学内の桜を迎えられて、新たに白門のメジャーとなった君たちを中央大学は諸手を挙げて歓迎します。

長い受験勉強から解放された君たちは、社会に出る前の四年間をこれからのように送ろうかと、胸を躍らせていることでしょう。サークル活動に、個人的趣味に、スポーツに、受験期にはゆくり楽しめなかつた貴重な青春を謳歌しようと思ひにしていると思います。大学は、これまで君たちが学んできた小・中・高等学校と違い、何をすることも自己の責任と判断において行つていきます。時間にはたっぷりありますし、強制的な勉強は課せられません。ですから、その日その

人たちは、勉学に際して迷うことはいないかもしれません。

しかし、大部分の諸君はまだやっと受験を終えたばかりで、はきりした目的を持たずに大学に進学したのではないのでしょうか。だからといって、慌てるには及びません。君たちの前には四年という期間が待っています。この間にじっくりと将来について考え、問題意識を養って頂きたい。

中央大学には今から百十五年前に創立された法学部を始め、経済学部、商学部、理工学部、文学部、総合政策学部の六学部があります。この六学部のいずれにおいても、極めて幅の広い学問を身につけ、複眼的思考を培えるようなカリキュラムが用意されています。また、学部間の壁もできるだけ低くして、他学部の授業も履修できるように配慮してあります。それは、何よりも諸君にできる限り広い視野を持って社会や、人間というものを知ってほしいからです。

受験勉強においては正解が一つだけですが、他の答えはみんな間違いだつたかも知れませんが、大学はいろいろな考え、いろいろな思想を受け入れて、自由に研究し、論議し、発展させてい

くところです。マニュアル通りにやればいい何とかなるというものではありません。ですから、諸君たち、一人一人が自分で考え、積極的に答えを出して進むことが要求されるのです。中央大学には、広範な学問分野に互つて優れた業績を上げている一流の先生方が大勢おられます。しかし、このような先生方の真価に接したいのなら、受け身の姿勢ではだめです。自分なりの問題意識に基づいて勉強した結果を質問の形で積極的に先生にぶつけ、先生との対話を通じて己れ自身の答えを生み出すことが大切ですよ。

このようにして、数多くの知の花園を探索していくうちに、諸君の実力は自然に貯えられるのです。そして、まだ新入生の段階では社会に出てどのような道に進もうかという確固とした目的を持たない人も、四年の間には必ずと答えが出てくるはずですよ。君たちの人生にとってこの時間は社会に羽ばたく助走の時です。中央大学に学んで良かったと、四年後に明言できるよつ積極的の生きて下さい。我々教師たちは全力を挙げて諸君のお手伝いをします。

日を遊んでいても誰からもがめだてされずに済みます。しかし、周囲から圧力はかからない代わりに、自分がすべての結果を背負わなければならず、他人のせいにするとはできません。そのことを先ずしっかりとわきまえて下さい。

自分の頭で考え、行動し、個性を培い、実力をつける、それが大学です。君たちのなかには既に人生の目的をある程度定めて、例えば法律家になるために法学部に入学した人、公認会計士を目指して商学部に入学会している人、あるいは自然科学に一生を捧げるために理工学部に入った人、言語学が大好きなので文学部に入った人ともいると思います。そのように確たる目的意識を持って中央大学に入ってきた